

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	入院中にメサドン塩酸塩を導入した患者に対する病棟看護師の関わりの実態
研究責任者	看護部管理室 吉田恵理
研究実施体制	当院臨床研究審査委員会の承認を得て実施します。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2022年8月31日
対象者	2021年7月から2022年6月で入院中に医療用麻薬メサドン塩酸塩(以下メサドン)を導入した患者を対象とします。ただし、導入後10日以内に退院した患者は除外いたします。
研究の意義・目的	当院で入院中にメサドンを導入した患者の背景やメサドンの使用効果、副作用、看護師の関わりとして看護観察項目と副作用の対応を振り返ることで、病棟看護師の関わりの実態を知ることが目的とします。本調査の意義は、緩和ケアチーム専従看護師が行う、病棟看護師のメサドン管理に関わる指導内容を検討する一助となることです。
研究の方法	メサドンを導入した入院患者の年齢、性別、がん種、Stage、痛みの原因、痛みの神経学的分類、先行で使用していた強オピオイドの種類と用量、メサドンに変更した理由、メサドンの用量、レスキュー薬の種類と用量、レスキュー薬の使用10日後のSTAS-J(痛み)、心室頻拍120回/分以上・QT延長500msec以上・呼吸回数8回/分以下、眠気が強い時に医師への報告、悪心/嘔吐ある時、便秘がある時、せん妄の時医師への報告とそれらの症状への対応、メサドンの中止・減量を医師と検討、せん妄は看護記録内のせん妄アセスメントテンプレートのSTEP2のA意識・覚醒・環境認識のレベル、B認知の変動、C症状の変動、STEP3せん妄の直接因子(薬物)とケア、を診療情報記録から抽出し、メサドン管理に関わる病棟看護師への指導内容を考察します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部管理室 吉田恵理 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日